



コタンメール 58号

2010年9月25日発行

担い手育成講座通信

イランカラッテ クコロ ウタラパ ウタラ (こんにちは、みなさん)

今回は担い手育成事業研修生の研修内容(9月)を一部紹介します。

<アイヌ語研修>

第14回アイヌ語弁論大会イタカンローに参加するため、それぞれが演題を決め、アイヌ語の原稿作りや語り方などを練習しています。この大会では、アイヌの口承文芸部門・弁論部門で約8分間の発表をします。

「第14回アイヌ語弁論大会
「イタカンロー(itak an ro)」

日時：2010年11月6日(土)
10:00~18:00

場所：北海道大学クラーク会館講堂
(北大正門より入り左手)

*お時間がありましたら是非、
応援に来てください!

研修生名	演題
川村 このみ	旭川地方のユカラ
木村 君由美	北見地方のサコロベ 「komnihuci」
堀 多栄子	白糠地方のイフンケ
八幡 一巖	千歳地方のユカラ
山田 美郷	白老地方のユカラで ヘツチェ(合いの手)をしよう

<植物利用、工芸研修>

アイヌの織り機の製作をしました。
これをアットウシカラペなどと言い、
これでアットウシ織りをします。

糸はオヒョウの皮で作り、次の研修
でこれらを使って帯などを作ります!



(やまだ みさと)



「カイくん」の息子「空くん」がポロトコタンへ

この子犬は、ソフトバンクのCMに出演している
「カイくん」の息子「空」です。

これからは、博物館で皆さんをお待ちしていますので、
ぜひ会いに来てください。

上海万博に参加！

日本館「北海道の日」でアイヌ文化を紹介

9月1日から6日まで中国上海に行ってきました。3日から5日までの3日間日本館のイベントスペースで「北海道の日」という催し物があり、そこでアイヌ古式舞踊の公演を行わせていただきました。当日は白老町以外からも全道各地から色々な方が参加し、歌や踊りを披露しました。

現在中国では北海道旅行がブームになっています。北海道を舞台にした映画も作られ、大ヒットを記録しました。そのような背景もあり、万博での「北海道の日」も3日間で3万人以上の入場者数を記録し大盛況でした。



そんな中、アイヌ民族博物館は3日間で計5回の公演を行いました。まずほとんどの中国の方達はアイヌ民族の存在を今まで知らなかったと思います。しかし、公演が始まると多くの方が興味深そうにご覧になっていました。中国には、国民の90%以上を占める漢民族の他に55もの少数民族が存在します。そう考えると少数民族

の存在に違和感を感じる人は少ないと思います。しかし、多くの中国の方は日本は単一民族国家だと思っているので、中には意外な印象を受けた人もいるかもしれません。

今回の公演の演目はムックルの演奏から始まりました。普段聴き慣れない楽器の不思議な音色に好奇心を刺激された方も多くいたと思います。その他にも衣装や踊り、言葉等中国の方達がイメージする日本とは一味違った印象の公演だったのではないのでしょうか。

しかし、アイヌも北海道の歴史、文化の一部であり、日本及び北海道の持つ多様性というものを提示する上でとても意義のある公演だったと思います。ステージの最後には、10数人のお客様にも舞台上がってもらって一緒に踊っていただき、踊り終わった後にはムックルをプレゼントしました。

万博でのステージでどれくらいの人がアイヌのことに興味を持ったかは分かりませんが、ステージを見ていただいたお客様達にはアイヌという名前だけは少なくとも覚えていただけたと思います。このような活動を通じて、他の地域や他の民族の人達と繋がっていくことができればより多くの方にアイヌのことを知っていただく機会になると思います。

(こじま だいき)

